

江里山を語ろう / だんだんだより

2023.12

だんだんだよりに込めた思い

【だんだん】になった田んぼが広がる

みなさんのふるさと【江里山】について 少しお話しませんか

これまでの江里山について これからの江里山について

【囲らん】しながら色々と教えてください

そのきっかけづくりとして

みなさんとのコミュニケーション誌【だんだんだより】を発行しました

みなさんと一つ（囲）になって

江里山のことを考えていきたいので よろしく願います

江里山を語ろう だんだんだより

発行／棚田げんきスタッフ（小城市地域おこし協力隊）



江里山の棚田
Instagram

げんきの種まき

(最近こんなことしています)

11月12日(日)に開催された小城市牛津産業まつりに出店してきました。肌寒い1日でしたが、会場は賑わっていましたよ。今回は、棚田米、さしみこんにゃく、レモンを販売し、完売には至りませんでした。多くの方に手に取っていただきました。江里山の棚田米が美味しかったからと再度購入していただいた方、「江里山の～」という掛け声に反応して立ち寄ってくださった方など“江里山ファン”の方もちらほら。今回の出店では、販売に関する課題も見え、良い経験になりました。



11月16日(木)に佐賀市で技術懇話会(※)が開かれ、「地域活性化」をテーマに、江里山での活動についてお話をさせていただきました。棚田ボランティアで関わってくださっている、佐賀県農業土木振興会さまとのつながりで、今回、お声がけをいただきました。人前で話するのは緊張しましたが、江里山のこと、協力隊としての活動のこと、江里山と私のこれからについてなど、自分の言葉で伝えることができたかなと思っています。当日は、江里山からも“応援”に来ていただきました。ありがとうございました！

※主催：NPO法人 技術交流フォーラム
(公社)日本技術士会 佐賀県支部

11月28日(火)に9回目の座談会を開催しました。イノシシ対策やたなだ部の活動、地域猫に関する事など、みなさんの最近の関心事が話題になったのですが、座談会で話を聴いていた私は、みなさんの思いを何らかの形で整理して、一歩でも、半歩でも前に進めていきたいなあと思ったりもしました。

そのほか、私の今後の活動について、やっと「〇〇をしたいんです！」とみなさんに言えるようになってきました。私の話も、また聞いてください。



私がみなさんにお話したい
〇〇のこと



棚田げんきスタッフ (田中)

江里山画廊

(江里山で出会った今月の一枚)



たなだ部で育てた落花生とさつまいもは、コンテナいっぱい収穫できました。12月の活動では、収穫した農産物を使って調理をする予定です。



全国棚田(千枚田)サミットに行ってきました～その①～

11月18日(土)～11月19日(日)に和歌山県的那智勝浦町で開催された、第28回全国棚田(千枚田)サミットに参加してきました。サミットには、全国各地から約500名の方が参加され、棚田の保全や地域づくりに関する講演・事例発表、そして現地見学会などが行われました。

棚田がある那智勝浦町の色川地域では、40年以上前から移住・定住の促進に力を入れています。移住者の受け入れにあたっては、「地域らしさが無くなってしまわないのでは？」という声もあつたようですが、地元住民と移住者が対話を重ねられ、現在では、人口の半分が移住者になっているそうです。「担い手をどう受け入れ、地域をどう守っていくか」という課題の解決に向けて、様々な取り組みをされている様子が印象的でした。

(サミットの報告は次号に続きます)

／ 那智勝浦町に関するキーワード ／

人口約14,000人・面積約184km²・
世界遺産(熊野古道、熊野那智大社、
那智の滝など)・色川の棚田群・温泉地・
マグロ漁・小型ロケット発射場

だんだん掲示板

(みなさんへのお知らせ)

酒米を無事に納品しました！

今年の4月からスタートした、二十日会による酒米づくりですが、10月に稲刈りを終え、その後、無事に納品することができました。イノシシによる被害もありましたが、当初目標としていた収穫量を上回り、メンバー全員がホッとしているところです。江里山の酒米を使ったお酒の仕込みは、春先から始まるそうです。

